



府中市
市長 小野 申人



府中商工会議所
会頭 北川 祐治



府中ロマン親善大使
森友 嵐士



府中市観光協会
会長 高橋 良昌

特集

紡ぐ - 共創するストーリー -

森友嵐士が旗を振り、行政・産業界がサポートする備後ロマンプロジェクトが始動。府中に眠る隠れたストーリーを掘り起こし、全てを紡ぎおとぎ話を描いていく7年のはじまりは、4月12日のお祭り広場から！
市民の皆さんが主役となり、あなたが知る府中市の話を森友嵐士に伝えにいこう。



高橋 それでは、小野市長からこのプロジェクトのお話を伺います。

小野 昨年、森友さんには府中ロマン親善大使に就任いただきました。その前から、さまざまな話をしてきた中で、府中の歴史・文化をもとにした物語を、ストーリー仕立てにプロデュースし、それを、市と商工会議所でサポートし、民・官・産が手を組んだ、壮大なプロジェクトを立ち上げることにしました。手探りの中で進めていくことになりましたが、これはいわゆる「挑戦」。チャレンジすることで、市の可能性を広げていけると思っています。

高橋 森友さん、プロジェクトに対する思いと内容を聞かせていただけますか。
森友 一昨年の豪雨災害で、府中市も大きな被害を受けました。その中で、災害からの復興も半ばですが、被害を受けた方だけでなく、「府中市全体をもっと盛り上げていかないと」と思うようになりました。そこで、僕自身が何ができるのか、

何をふるさとに恩返しすればいいのかと考えてきました。考え付いたのが、一過性のイベントに出演するのではなく、今までにないもので、時が経つにつれ、どんどん大きくなっていき、多くの人に府中の魅力が届くことをしたい。それが、府中の産業となり、府中市全体の豊かさにつながっていくというのが、テーマです。
高橋 では、森友さんが考える府中の魅力とは？
森友 府中には、さまざまな魅力があるけれど、僕が惹かれたのは、府中の歴史・文化です。府中は、備後国跡が国史跡に指定されています。かつて130年前には、政治・文化の中心だった府中は、多くの人が集まる場所だったろうし、当時の住んでいた人たちがいたから、僕たちが今こうして生きている。昔からの文化は、代々継承されていると思うけど、あるときそれが途切れると、もう2度と復活できないもので、とても大事なもののだから、そこにクローズアップしてい

たい。このプロジェクトの中心にもなる恋しきは、市内で歴史や文化を感じられる1番の場所だと思っています。形が今も残っていて、趣だったり、雰囲気だったり、当時の息づかいが感じとれる。恋しきにまつわるお話はたくさんあって、歴代の総理大臣や文豪たちが、恋しきに食事や宿泊をして来ている。その他にも僕の知らないいろいろなお話や口伝があるはず。それらをどんどん教えてもらって、紡いだ物語＝ストーリーを、ムービーで作りあげたいと思います。今となっては、それが正しいのか確かめようがないので、おとぎ話っぽくなるかもしれないけれど、**北川** 商工会議所は、所属する企業や会員さんがどう元気になるかを第一に活動しています。その中で、工業は世界へ出て勝負するというステージで、商業では、市内での密度をどう高めていくかというところです。そこで、森友さんの言われる歴史という点で、府中には、62社の100年続く歴史の

ある企業があります。これは、広島県内でも他に例のない密度の高さとして誇れるところ。産業界も深い歴史・文化というものを持っています。そういう意味でも、今回、森友さんが府中の歴史・文化にフォーカスして府中を発信していくという切り口は、今までになく、会議所としても協力して応援していこうと思っています。
スタートイベントを4月に！
森友 4月12日に、備後ロマン桜灯籠祭りを開催します。このイベントは、おとぎ話を表現するステージで、音と明かりをテーマとして、この地に伝承する物語を元にして作り上げていきたいと思っています。
高橋 そのイベント以降の構想がありますか。
森友 まず今回僕たちがスタートとして、恋しきを中心とした物語を描きます。その後は、市民の皆さんから知っている情報を教えていただいて、一緒に描いて

備後ロマン
桜灯籠祭り

とき 4月11日(土)・12日(日)
ところ お祭り広場
料金 一部無料、12日…入場LEDバルーンチケット前売り…800円、当日…1000円
※優先席チケットもあります。

府中のお話受け付け中/
問い合わせ先
備後ロマン実行委員会
事務局 担当 三輪
(☎080-39 47-7654)

いこうと思つてます。そこで恋しきに事務局を置き、誰でも話をしに僕たちのところへノックしてきてほしい。話す場所ができたことで、次に形にするプロジェクトがあつて、皆さんに届けるイベントがあつてという循環が、心惹かれるストーリーを生んでいく共創の物語なんです。
高橋 子どもたちに対する思いがありますか。
森友 今時代の動きがすごく速くなっていて、結果に對してすごくシビアになつてきている。それが悪い訳ではないけど、結果を求めると、子どもたちが、挑戦できにくくなり、可能性を狭めて小さな世界になつてしまう。大人たちも日々追われて、ワクワクするってことを忘れてる。そんな大人を見ている子どもたちが、ワクワクすることってあるのかなって思う。子どもも大人もワクワクできるプロジェクトにしたい。
北川 これからの子どもたちにはいろいろな伝えていかないといいないが、少なくともそういった場を作ること。これからプロジェクトを作り上げていく中で、多くの人に関わりをもつてほしいと思います。
小野 みんなワクワクして見に来る人も、参加する人も、支える人も楽しんで、次回から参加してみようというプロジェクトにしよう。